

## ウラジオストク滞在に関する報告について（11月分）

### 1. ロシア語学校について

---

11月25日に連邦大学で国際文化祭が開催されました。この文化祭は毎年1度開催されており、各国がブースを出し、その国の文化の紹介や各国の伝統料理を出しあう料理コンテストもあり、日本からはたこ焼きを出品しました。また文化祭の最後には各国がステージで歌やダンスを披露する発表会があります。日本の留学生は日本のドラマで人気になった恋ダンスとソーラン節を一か月間練習し、本番では大きな盛り上がりを見せていました。



(写真1：極東連邦大学文化祭)

### 2. ウラジオストク市内の状況について

---

#### ・治安状況

当地で日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。

## ・気 候

11月10日に雪が降りました。気温もぐんぐん下がっており、最高気温がマイナスの日もあります。風も強いので、すでに体感温度はかなり低いように感じます。現地のロシア人によるとまだまだ気温は下がり続けるようです。

### 3. ヴォロネジ・モスクワ出張について

11月21日にロシア南西部の都市ヴォロネジで地域間交流分科会第7回会合があり出席しました。地域間交流分科会はロシアと日本の地方の交流・情報交換を目的として開催されており、去年は富山県で開催されています。

会議では各参加地域の日露交流の現状や課題、様々なプロジェクトへの展望が話されました。富山県の発表の時間もあり、県と沿海地方との交流や県で行っている活動等を紹介できました。

ヴォロネジという都市はロシア国内でもあまりメジャーな所ではありません。しかし、現在都市改革計画に乗り出しており、街並みは大変きれいに整備されつつありました。ヴォロネジ州知事によると今後は道路交通のスマート化に力を入れ、渋滞の緩和等を図っていききたいとのことでした。



(写真2：地域間交流分科会第7回会合)



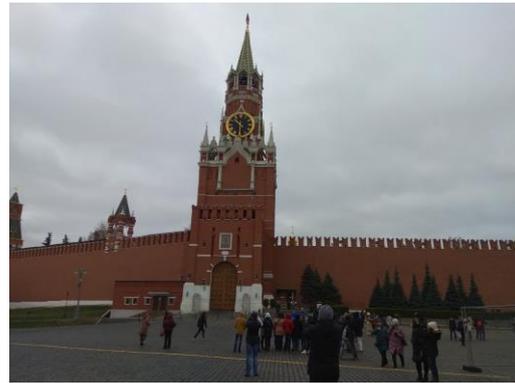
(写真3：ヴォロネジ市内)

また、モスクワに事務所がある日本国際交流基金モスクワ文化センターを訪れ意見交換を行いました。同センターではモスクワでの日本の文化や言語の発展を目的とした活動を支援しており、日本語教室や日本語スピーチコンテストを開催しています。現状の活動や、ウラジオストクやモスクワでの日本の印象等について話すことができました。

モスクワはロシアの首都であり、とても都会的で美しい街として有名です。街中には地下鉄や路面電車が走っており移動も便利です。ウラジオストクとはまた違ったロシアの都市に触れることができました。



(写真4：モスクワ大学)



(写真5：モスクワ クレムリン)

#### 4. ウラジオストクでの行事について

---

##### ●日本フェスティバル（17日）

日本の食や文化を紹介する日本フェスティバルが開催されました。ここでは来客したロシア人に将棋や囲碁、けん玉などの日本の遊びを楽しんでもらうコーナーや、習字で日本のひらがなや漢字を紹介するコーナー、日本の弁当や餅つきをするコーナー等が設けられました。またステージでは秋田犬の贈呈やコスプレショーも行われ、大変盛り上がっていました。



(写真6 日本フェスティバル様子①)



(写真7 日本フェスティバル様子②)